

16 治安、防災

表16-1 刑法犯罪発生件数

単位：件

安全防災課調

年	総数	凶悪犯					窃盗犯	粗暴犯				
		計	殺人	強盗	強姦	放火		計	暴行	傷害	恐喝	脅迫
19年	1,804	11	3	6	1	1	1,374	96	36	46	12	2
20年	1,678	6	2	3	1	—	1,236	111	69	37	2	3
21年	1,394	8	1	5	2	—	1,053	58	28	25	2	3
22年	1,335	7	0	6	1	0	1,018	72	39	25	5	3
23年	1,311	5	—	3	1	1	994	76	34	36	6	—

年	知能犯				風俗犯			その他
	計	詐欺	横領	その他	計	わいせつ	と博	
19年	42	39	—	3	9	9	—	272
20年	75	69	2	4	9	9	—	241
21年	42	35	1	6	9	6	3	224
22年	39	35	—	4	6	6	—	193
23年	37	30	—	7	8	7	1	191

表16-2 災害見舞金支給金額別件数

単位：件、千円

安全防災課調

年度	支給件数						支給金額
	総数	2万円	4万円	6万円	20～30万円	その他	
18年度	5	1	—	4	—	—	260
19年度	11	5	1	5	—	—	440
20年度	4	—	—	4	—	—	240
21年度	5	1	2	1	1	—	460
22年度	4	1	1	1	—	1	240

※「その他」は、特定の条件に該当する場合に、入院1日につき2,000円を1日目から60日を限度として支給するもの。

表16-3 防犯灯管理状況

単位：灯

安全防災課調

年度	総数	水銀灯	蛍光灯				LED		
			計	鋼管単独柱	木柱単独柱	電柱等共架	計	鋼管単独柱	電柱等共架
18年度	6,873	23	6,850	648	32	6,170	—	—	—
19年度	6,949	23	6,926	659	30	6,237	—	—	—
20年度	7,044	23	7,021	679	30	6,312	—	—	—
21年度	7,125	24	7,101	694	29	6,378	—	—	—
22年度	7,194	24	7,140	698	29	6,413	30	4	26

表16-4 救急車出動件数

単位：件

(各年12月末現在) 消防管理課調

年	総数	火災	自災	然害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他
19年	4,566	21	16	—	569	41	32	586	73	90	2,737	401	
20年	4,161	14	18	—	516	32	23	535	53	75	2,558	337	
21年	4,348	18	6	2	531	28	18	541	61	119	2,695	329	
22年	4,647	18	0	1	504	43	22	631	41	101	2,933	353	
23年	4,959	20	0	5	557	41	16	665	51	94	3,161	349	

表16-5 消防車出動件数

単位：件

(各年12月末現在) 消防管理課調

年	総数	火災	市外	救助	水防	支援	誤報・虚報	その他
19年	495	38	13	34	15	302	10	83
20年	542	27	13	26	29	344	14	89
21年	629	30	13	41	3	435	17	90
22年	636	34	13	41	20	448	6	81
23年	808	48	14	37	53	545	18	97

※支援出動とは、傷病者の救命率の向上等のため、救急隊と消防隊が連携して行う出動をいう。

※22年は火災件数と救助件数が7件、23年は、4件重複しているので出動件数の総数がそれぞれ7件、4件少ない。

表16-6 119番、テレホンガイド利用件数

単位：件

(各年12月末現在) 消防管理課調

年	119番等					テレホンガイド		
	総数	火災等	救急	いたずら	その他	総数	火災等	医療機関
19年	9,687	535	4,612	298	4,242	7,187	3,001	4,186
20年	9,165	555	4,170	312	4,128	7,184	3,228	3,956
21年	9,622	663	4,606	297	4,056	8,147	3,551	4,596
22年	9,902	710	4,753	323	4,116	7,442	3,166	4,276
23年	10,147	812	4,961	342	4,032	8,568	4,157	4,411

表16-7 火災原因別発生件数

単位：件

(各年12月末現在) 予防課調

年	総数	たばこ	こんろ	かまど	衝突の 火花	ローソク	電気 スパーク	ストーブ	無煙ロー スター	配線器具
19年	38	3	5	—	—	—	—	2	—	1
20年	27	2	1	1	—	—	1	2	—	2
21年	30	2	4	—	—	—	—	2	1	—
22年	34	3	5	—	—	1	1	—	1	—
23年	48	4	5	—	1	—	—	—	—	—

年	花火	溶接機	電気機器	火の粉	電灯・電話 等の配線	火遊びの 疑い	火遊び	マッチ・ ライター	たき火	線香
19年	—	—	1	—	—	—	3	1	1	—
20年	—	—	1	—	—	—	—	1	—	1
21年	—	—	—	—	1	—	3	1	—	1
22年	1	—	—	1	1	1	1	—	1	—
23年	—	2	—	—	—	—	2	—	3	—

年	ガスバー ナー	火入れ	放火	放火 の疑い	その他	内燃機関	電気装置	不明・ 調査中
19年	—	2	6	6	—	—	—	7
20年	1	—	5	3	1	—	—	5
21年	—	—	1	3	2	—	—	9
22年	—	—	—	5	—	—	—	12
23年	—	—	10	6	1	1	1	12

表16-8 消防団員数

単位：人

(各年12月末現在) 消防総務課調

年	総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
19年	208	1	2	5	8	16	51	125
20年	215	1	2	5	8	16	52	131
21年	219	1	2	5	8	16	52	135
22年	216	1	2	5	8	16	51	133
23年	215	1	2	5	8	16	51	132

表16-9 消防水利

単位：箇所

(各年12月末現在) 消防総務課調

年	総数	消火栓	公設防火水槽	私設防火水槽	プール	池
19年	1,386	979	195	193	18	1
20年	1,395	980	195	201	18	1
21年	1,407	981	197	210	18	1
22年	1,414	985	199	211	18	1
23年	1,409	985	199	206	18	1

表16-10 消防機械の配備状況

単位：台

(各年12月末現在) 消防総務課、消防管理課調

年	消防本部・消防署									
	はしご付消防自動車	消防ポンプ自動車			消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付き積載車	小型動力ポンプ	救助工作車		
		はしご付	化学	水槽付						
19年	1	1	1	1	4	1	3	1		
20年	1	1	1	1	4	1	3	1		
21年	1	1	1	1	4	1	3	1		
22年	1	1	1	1	4	1	3	1		
23年	1	1	1	1	4	1	3	1		

年	消防本部・消防署				消防団			
	救急車	指揮車 指令車	特殊車	その他	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付き積載車	小型動力ポンプ	その他
19年	4	2	2	7	8	8	2	—
20年	4	2	2	7	8	8	2	—
21年	4	2	2	7	8	8	2	—
22年	4	2	2	7	8	8	2	—
23年	4	2	2	7	8	8	2	—

表16-11 防火対象物・危険物施設件数および査察件数

予防課調

年 度	防火対象物		危険物施設	
	件 数	査察件数	施設数	査察件数
18年度	2,753	177	183	124
19年度	2,758	200	167	156
20年度	2,783	188	168	83
21年度	2,803	191	165	105
22年度	2,795	135	163	72

表16-12 消防力の整備指針と充足率

単位：所、台、%

(23年12月31日現在) 消防総務課調

区 分	署 所	消防ポンプ車	はしご車	化学車	指揮車	救助工作車	救急車	特殊車	非常用自動車	合 計
基 準	3	4	2	1	1	1	4	2	2	17
現 有	3	4	2	1	1	1	3	2	2	16
充足率	100	100	100	100	100	100	75	100	100	94

表16-13 地震防災応急対策整備状況

安全防災課調

年 度	災害用飲 用貯水槽 (基)		自主防 災組織 (団体)		軽可搬消 防ポンプ (台)		広域避 難場所 (箇所)	
		うち年度 内整備数		うち年度 内整備数		うち年度 内整備数		うち年度 内整備数
18年度	18	—	109	4	60	—	22	—
19年度	18	—	114	5	60	—	22	—
20年度	18	—	115	1	60	—	22	—
21年度	18	—	115	—	60	—	22	—
22年度	18	—	119	4	60	—	22	—

年 度	避難所 (箇所)		備蓄倉庫 (棟)		食糧備蓄 (食)	
		うち年度 内整備数		うち年度 内整備数		うち年度 内整備数
18年度	30	—	44	2	81,500	18,500
19年度	30	—	46	2	88,000	18,500
20年度	30	—	48	2	92,500	18,500
21年度	31	1	50	2	92,500	18,500
22年度	31	—	50	—	92,500	18,500

※食糧備蓄は、賞味期限切れの廃棄分があるため、各年度購入分の計と総数とは一致しない。

※自主防災組織は、連合自主防災組織の自治会数を単位自主防災組織と改めたもの。